

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

## <申請者>

twin village 株式会社（福島県いわき市）  
経営概況（2026年6月時点）

経営規模：水稲78ha、小麦13ha、  
デントコーン5ha、玉ねぎ3ha

従業員数：9名

## <対象品目>

水稲

## <計画の実施期間>

5年間

## <活用予定の支援措置>

—

## <生産方式革新事業活動のイメージ 等>



twin village の皆様



栽培管理システム（ガルビオ）と作業風景

### ～認定を受けて一言～

このたび弊社の生産方式改新実施計画が認定されたことは、大きな励みとなっております。

本計画に基づき、地域の生産者とデータやノウハウを共有し、導入中であるトヨタ生産方式の現場改善でのスキルも活かして、労働生産性の向上と安定的な収量・品質の確保を通じて持続可能な農業経営の実現を目指してまいります。